



中々のものでしょう(5月10日)



元気よく泣いていました(5月10日)



いい気持ちでお昼寝(5月19日)



お父さん似、それともお母さん(5月10日)

「よめちゃんのお楽しみ日記」③⑥

「初孫 和志くん誕生」の巻 かずし

私が結婚したのは昭和四十九年三月です。

道後温泉の大和屋本店で挙式しました。旅行屋の仕事柄、式場や料理、引き出物はもちろんのこと神主さん、貸衣裳、写真屋さんまで自分で手配した手作りの結婚式でした。お陰様で、男三人、女一人の子供にも恵まれました。

しかし、子供たちは私達夫婦を見て失望したのか、なかなか結婚してくれませんが、やとと平成二十六年十一月末っ子の将志が結婚しました。

二代同じ式場で感慨深いものがありました。そして、今か今かと待ちわびていた初孫が五月八日、母の日に生まれました。

早速、今治まで駆けつけ対面しました。恐る恐る抱いてみましたが我が子の時よりしつかりしているような気がしました。(時代かな、それとも…)

名前は息子が和志(かずし)と名付けました。

私が男の子全員に「志」を付けたのでそれに倣ったのかも知れませんが、

人間、生きていくうえで大切な事は「和」を重んじることだと思っておりますのでいい名前だと私も気に入っています。

余談ですが私は「よもだ」人間で我が子に大志、千春、佑志、将志と名付けて

「大・中・小」が揃ったと自賛していました。

孫四人は無理でも三人くらいは欲しいと思います。(爺さんの勝手なお願い)友達や先輩から孫ほど、可愛いものはないと聞かされていましたが……。

私も同じになりそうだと思います。私も同じになりそうだと思います。私も同じになりそうだと思います。



中村剛志

平成28年6月号